

関越自動車216k p付近

調査日：平成16年11月6日（土）

班：地盤土構造物マネジメント班

分類別：被災状況、復旧状況

キーワード別：高速道路、盛土

調査結果

関越自動車216k p付近においては、盛土が中央分離帯付近から盛土のり面にかけて変状した。

盛土は、盛土高さが1.5m程度であり、丘陵谷部の切盛境に構築されている。また、基礎地盤は約20%程度の傾斜を呈していた。



写真1 被災状況



写真2 復旧状況